

米子市歴史館運営委員会（平成25年度）

日 時 平成26年3月19日（水）午後3時から
ところ 米子市役所5階議会第2会議室

日 程

1 開 会

2 挨拶（文化課長、委員長）

3 議 事

（1）平成25年度事業報告について

山陰歴史館、福市考古資料館、上淀白鳳の丘展示館

（2）平成26年度事業計画について

山陰歴史館、福市考古資料館、上淀白鳳の丘展示館

（3）山陰歴史館整備計画について

4 その他

5 閉 会

| 事業名 | | 開催日 | 入館者数(人) | 内 容 |
|-----------------|--|-------------------------------|--------------|---|
| 鑑賞事業 | 常設展 米子城、米子の農家の昔の暮らし、西田税、昭和の小学校、昔の道具、子どもの遊び、地図で見る米子の街の移りかわり | 通年 | 6,636 | 米子の古代から現代までの通史を展示する。各部屋の展示を巡ることで、当時の生活の様子や産業など、人々の息吹を感じてもらった。 |
| | 平成25年度 素鳳コレクション展 桃と端午の節句 ～健やかな成長を願う～ | 平成25年 3/30(土)～ 6/9(日) | [330] | 素鳳コレクションの中から、節句にちなんだ人形飾りを中心に展示し、子どもの健やかな成長を願った当時の節句の世界を紹介した。 |
| | すりもの 刷物 協力：南部町 祐生出合いの館 | 7/6(土) ～ 8/18(日) | [631] | 館所有の引札や明治期の教科書の版木を紹介しながら、祐生出合いの館が所有する絵暦もご覧いただき、刷物を楽しんでもらう機会を提供した。 |
| | とっりの文化遺産魅力発掘プロジェクト 山陰本線全線開通80周年記念 鉄道のまち・よなごの歴史 主催：米子市、米子市教育委員会、とっりの文化遺産魅力発掘プロジェクト実行委員会 協力：西日本旅客鉄道株式会社、ジェイアール西日本商事株式会社、鉄道のまち・米子の鉄市実行委員会、DFアロー、鳥取県立図書館、鳥取市歴史博物館、南部町祐生出合いの館 | 9/21(土) ～ 11/24(日) | [2, 210] | 昭和8(1933)年2月24日、山陰本線須佐～美禰線宇田郷が開通し、宇田郷以西が山陰本線に編入した結果、現在の山陰本線京都～幡生間676キロが全線開通して今年度で、80周年になることを記念して、明治35(1902)年に米子に鉄道が通ってから現在までの歴史を写真や鉄道関連資料で紹介した。 |
| | こどもの遊びとなつかしのおもちゃ展 主催：米子市、米子市教育委員会 協力：國頭徹夫、酒井教仁、冨田公夫 | 12/21(土)～ 26年 2/11(火・祝) | [943] | ブリキのおもちゃや双六など、こどもの遊び道具の歴史を知っていただく機会を提供した。 |
| | 写真でみる米子の歴史 主催：米子市教育委員会 | | [] | |
| | 米子歴史絵巻(歴史館コンサートの名称変更) ―栗嶋さん― 主催：米子市教育委員会、米子市文化ホール | 10/12(土) | [164] | 市内の史跡活用事業として粟嶋神社で、民話語りと伝統芸能の雅楽を聴く機会を提供した。 |
| 計 | 25年度 | 6,636 | 鑑賞事業6 内：企画展5 | |
| []：重複観覧者の人数は除く | 24年度 | 9,854 | 鑑賞事業9 内：企画展9 | |
| 教育普及事業 | とっりの文化遺産魅力発掘プロジェクト 平成25年度米子市立山陰歴史館企画展付帯事業 文化講演会 「近代化の旗手、鉄道と米子地方の鉄道、鉄道遺産について」 主催：米子市、米子市教育委員会、とっりの文化遺産魅力発掘プロジェクト実行委員会 | 10/19(土) | 57 | 日本の近代化に大きな役割を果たした鉄道の歴史と、米子周辺に残る鉄道遺産についての講演を開催した。 |
| | とっりの文化遺産魅力発掘プロジェクト 法勝寺電車廃線跡ウォーク 主催：米子市、米子市教育委員会、とっりの文化遺産魅力発掘プロジェクト実行委員会 協力：鳥取県・米子市・南部町教育委員会・米子市歴史館友の会・米子市尚徳公民館 | 10/5(土) | 130 | 昭和42年に廃線となった法勝寺電車、米子駅―法勝寺駅間の電車軌道跡をたどりながら、その歴史を知る機会を提供した。 |
| | とっりの文化遺産魅力発掘プロジェクト 平成25年度米子市立山陰歴史館企画展付帯事業 ワークショップ「法勝寺電車のペーパークラフトをつくろう！！」 主催：米子市、米子市教育委員会、とっりの文化遺産魅力発掘プロジェクト実行委員会 | 10/27(日) 11/17(日) | 15 | 昭和42年に廃線となった法勝寺電車を忠実に再現したペーパークラフトを作り、法勝寺電車の構造などを学習しながら往時の様子を振り返る機会を提供した。 |
| | とっりの文化遺産魅力発掘プロジェクト 平成25年度米子市立山陰歴史館企画展付帯事業 よどえまるごと・みちくさ日和 写真家気分(^-^*) 秋のちっちゃな鉄道の旅 主催：米子市、米子市教育委員会、とっりの文化遺産魅力発掘プロジェクト実行委員会 | 11/16(土) | 11 | 日吉神社の境内を走り過ぎる汽車や明治35年に建てられた山陰最古の駅舎を素材として、鉄道の歴史を体験しながら、知る機会を提供した。 |
| | 出前講座 地蔵盆(三本松子供会) | 10/20(日) | 15 | 学芸員が、子どもたちに米子地方の地蔵盆の歴史について話をした。 |

| 事業名 | | 開催日 | 入館者数(人) | 内 容 | | |
|---------------------------|---|-------------------------|---|---|----------------------|--------------------------|
| 教育普及事業 | 出前講座 鉄道のまち よなごの歴史 (米子市総務部職員課研修厚生係主催研修会) | 10/30 (水) | 90 | 学芸員が、企画展「鉄道のまち よなご」に関連した米子の鉄道の歴史を写真や鉄道関連資料で紹介した。 | | |
| | 体験講座 初冬をたのしむ 写経体験 協力：妙興寺 | 12/7 (土) | 14 | 日本仏教やお寺の歴史を学びながら、写経などの体験をおこなった。 | | |
| | 平成25年度 米子錦ライオンズクラブ助成事業 第40回郷土の歴史教室「大山の歴史を知ろう」 主催：米子錦ライオンズクラブ・米子市教育委員会 | 8/7 (水) ～ 8/8 (木) | 31 | 大山の宿坊に一泊して、大山周辺の歴史の学習や座禅体験・写仏体験など普段ではできない体験の機会を提供した。 | | |
| | 民話の部屋 共催：ほうき民話の会 | 通年 | 63 | 地方に残る方言で語られるむかし話を楽しむ機会とした。また、学芸員が歴史館資料や調査資料の解説をおこなった。学芸員が歴史館資料や調査資料の解説をおこなった。 | | |
| | 学校・公民館対応など | | | [801] | 3校 | 学校に館蔵品の貸出をおこなった。 |
| | 体験学習受け入れ | | | | 18校 | 米子市内外小学校3・4年生、中学生を受け入れた。 |
| | 博物館実習・職場体験受け入れ | | | [6] | 博物館実習：2件 職場体験受け入れ：4件 | |
| 財団連携事業 夏休みこどもわくわく体験ツアー | 7/26 (金) | [22] | 事業団の管理・受託施設が連携し、事業をおこなった。 | | | |
| 計 | 25年度 | 426 | 教育普及事業13 米子市内外小学校3・4年生、中学生を受け入れた(18校 801人) | | | |
| []:重複観覧者の人数は除く | 24年度 | 798 | 教育普及事業18 米子市内外小学校3・4年生、中学生を受け入れた(21校 1,300人) | | | |
| 資料の保存・活用事業 | 調査・整理・研究・保管 | 通年 | 資料の調査・整理・研究をし、その成果を発表した。 資料の目録作成をおこなった。 | | | |
| | 鳥取県史編纂事業 古文書解説ボランティア月例会 | | 96 | 鳥取県史編さん資料解説の事業支援をおこなった。 共催：鳥取県史編さん室 | | |
| | 資料貸出 | | 40件 | 資料の貸出をおこなった(939点) | | |
| 計 | 25年度 | 96 | 40件 | 939点 | | |
| []:重複観覧者の人数は除く | 24年度 | 124 | 64件 | 776点 | | |
| 情報提供事業 | 歴史館だよりの発行/ホームページの作成・更新 | 通年 | 史・資料の紹介やイベント情報の提供などをおこなった。 | | | |
| | 問合せ対応 | | 米子市史などの問い合わせに対応し、情報の提供をおこなった。 | | | |
| | 友の会の運営 理事会及び総会の開催 | | 9 | 会の運営 *参照：教育普及事業「とっとり文化遺産魅力発掘プロジェクト 法勝寺電車廃線跡ウォーク」を実施 | | |
| | 図書等販売 | | 委託図書・図録などの販売をおこない収入の一助とした。 | | | |
| 合 計 | 25年度 | 7,167 | | | | |
| | 24年度 | 11,014 | | | | |

※26年1月31日現在の集計

平成26年度 米子市立山陰歴史館事業計画（案）

1 基本方針

（1）個性あふれる利用しやすい施設づくり

建築物がもつ歴史的景観や価値の情報発信と、市民が集える場の提供をおこな
いながら市民に利用してもらいやすい施設づくりを目指す。

（2）郷土の歴史・民俗資料を中心とする整理、調査研究、保管活用の充実

収集資料の体系的な整理への取り組みを行い、事業企画や情報発信に活用でき
るよう研究成果の積み重ねに努める。

（3）子どもたちに地域の歴史への興味と関心をもたせる展示や活動に努める。

2 重点施策

（1）山陰歴史館所蔵の資料整理及び調査研究、資料活用の推進

2年あるいは3年をひと括りとして資料整理や研究に取り組み、その成果を常
設・企画展示事業に反映させながら、歴史的資料の開示や情報発信に取り組む。
『歴史館紀要』の発行を継続しておこなう。

（2）歴史館を活用した参加型の協働事業の推進

ほうき民話の会・米子下町観光ガイド、企画展示事業を通じて連携する諸団体
と協力・協働をとおして、活動の紹介や発表の場の提供、体験型参加事業、教育
普及事業の開催をおこなう。

（3）利用者サービスの向上

米子市史などの問い合わせに随時対応し、郷土の歴史に係る情報の提供や情報
交換の場の提供をおこなう。

（4）財団内で連携した事業展開

当財団の各専門分野の職員間で連携し、幅広い事業展開をおこなう。

平成 26 年度 米子市立山陰歴史館主催事業計画(案)

| | 事業名 | 目的・内容・ 入場料・入場者数(見込) | 実施日 | 備考 |
|-------------|-------------------------|---|---|---|
| 鑑賞事業 常設展 | 昔のくらし展 など | 米子の古代から現代までの 通史を展示し、各部屋の展 示を巡ることで、当時の生 活の様子や産業など人々の 生活を感じてもらう。 入場料無料(7,000 人) | 通年 随時展示替 | |
| 企画展 | 緋 展 (仮称) | 歴史館が所蔵する歴史・民 俗資料のなかから緋を紹介 する。 入場料 300 円(500 人) | 4 月 26 日(土) ~ 6 月 8 日(日) | |
| | 館蔵品展 | 歴史館が所蔵する歴史・民 俗資料の中からテーマを 決めて展示 入場料無料(500 人) | 6 月 29 日(日) ~ 8 月 17 日(日) | |
| | 音を奏でる (仮称) | 古代琴や土笛などの古代楽 器、琵琶、七絃琴、東南ア ジアなどの楽器を展示 入場料無料(500 人) | 9 月 6 日(土) ~ 10 月 5 日(日) | |
| | 米子城の歴史 を追う!! (仮称) | 米子城築城に携わった人々 や歴代の城主、家臣に関す る資料を展示 入場料 300 円(1,000 人) | 10 月 26 日(日) ~ 12 月 23 日 (火・祝) | 関連事業 講演会・講座など |
| | 絵図展 (仮称) | 鳥取市歴史博物館所蔵の絵 図や、当館所蔵の絵図など を展示。 入場料 300 円(500 人) | H27 1 月 24 日(土) ~ 3 月 1 日(日) | 共催：鳥取市歴史博物館 (予定) |
| 連携事業 | 米子歴史絵巻 | 越前琵琶の野外演奏 創作曲「朗読琵琶」ほか 入場料無料(100 人) | 10 月 4 日(土) | 場所：米子市指定史跡清 洞寺跡(湊山公園内) 共催：とっとり文化遺産魅 力発掘プロジェクト実行委 員会・文化ホール(予定) |

| | 事業名 | 目的・内容・ 入場料・入場者数(見込) | 実施日 | 備考 |
|------------|---------------------|---|------------------|--|
| 教育普及 事業 | 講演会 | 日本に伝播した東南アジア や韓国からの音楽や楽器に ついて学ぶ。 入場料無料(100人) | 9月27日(土) | 場所:文化ホールイベン トホール 共催:とっとりの文化遺産魅 力発掘プロジェクト実行委 員会・文化ホール(予定) |
| | 講座 歴史を学ぶ | 日本仏教やお寺の歴史を学 びながら、写経や座禅を体験 する。(予定) 参加費500円(30人) | 調整中 | 場所:妙興寺ほか 協力:妙興寺ほか *米子巡りウォークを変更 |
| | 講座 日本刀の歴史 と魅力 | [米子城の歴史を追う!!関連事業] 日本刀の概説を通して魅力 を伝える。 入場料無料(100人) | 11月頃 | 協力:全日本居合道連盟本部 参与中田利幸 |
| | 第41回郷土の 歴史教室 | 子どもたちに郷土の歴史を 知る機会の提供を図る。 「米子市内外の史跡見学」 参加人数30人 | 7月30日(水) (予定) | 共催: 米子錦ライオンズクラブ |
| | 民話のへや | 民話語りや歴史館資料など の紹介・解説を実施 | 通年 | 共催:ほうき民話の会 |
| | 学校への出前 講座 | 越前琵琶の演奏や解説を通 して、伝統楽器の歴史を学 ぶ。 | 調整中 | 共催:とっとりの文化遺産魅 力発掘プロジェクト実行委 員会・文化ホール・淀江文化 センター(予定) |
| | 館内体験学習 学芸員研修受入 | 社会科校外学習受入など。 | 申込随時 | |
| | 財団施設 体験ツアー | 当財団の管理・受託施設が 連携を取り事業を実施 | 7月24日(木) | 共催:財団施設 |

| | 事業名 | 目的・内容・ 入場料・入場者数(見込) | 実施日 | 備考 |
|--------------------|----------------|-------------------------------------|-----|-----------|
| 資料の 保存・活用 事業 | 資料の調査・整理・研究・保管 | 資料の調査・整理・研究をおこない、『歴史館紀要』等に成果を発表 | 通年 | |
| | 資料貸出 | 素鳳コレクションの貸出 学習資料などの貸出 | 通年 | |
| | 県史編さん事業古文書解読 | 古文書解読の学習の場の提供を通して、資料解読の協力者の育成につなげる。 | 通年 | 共催：県史編さん室 |
| 情報提供 事業 | 問合せ対応 | 県内外からの問合せに対応し、歴史情報の提供をおこなう。 | 通年 | |
| | 歴史館だよりの発行 | 歴史館の展示情報などを提供 | 通年 | |
| | ホームページ | 展示事業の紹介・更新 | 通年 | |
| | 友の会の運営 | 会の運営の手助けをおこなう。 | 通年 | 共催：歴史館友の会 |
| | 図書等販売 | 委託図書などの販売 | 通年 | |

米子市埋蔵文化財センター 米子市福市考古資料館

平成25年度事業実施報告書



2014・3

米子市埋蔵文化財センター
米子市福市考古資料館

米子市福市考古資料館の概要

1 米子市埋蔵文化財センター施設概要

- (1) 名称 「米子市埋蔵文化財センター」
- (2) 設置目的 埋蔵文化財保護と活用を図り、郷土の歴史に関する理解を深め、市民の文化的向上に資するため設置する。
- (3) 設置場所 鳥取県米子市福市281番地
- (4) 施設設備 鉄筋コンクリート造3階建(旧日新小学校改装) 延床面積2,720㎡
展示室1室・資料閲覧室1室・書庫1室・木器保存処理室1室・写場1室・調査研究室1室・資料整理室2室・土器洗浄室1室・木器收藏室2室・体験学習室1室・研修室1室・調査資料保管室1室・特別收藏室1室・出土品收藏室10室
- (5) 設置年月日 平成22年4月15日
- (6) 開館日及び閉館日並びに開館時間 開館日 月曜日～金曜日
開館時間 午前9時～午後5時
閉館日 土、日、祝日及び年未年始の休日



展示室



資料整理室

2 米子市福市考古資料館施設概要

- (1) 名称 「米子市福市考古資料館」
- (2) 設置目的 郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資するため設置。
- (3) 設置場所 鳥取県米子市福市461番地 - 20
- (4) 施設設備 鉄筋コンクリート造1階建
延床面積150㎡
展示室1室・研修室1室・事務室1室
外倉庫1室
- (5) 設置年月日 昭和55年10月6日
- (6) 開館日及び閉館日並びに開館時間 開館日 水曜日～月曜日
開館時間 午前9時30分～午後5時
閉館日 火、祝日の翌日及び年未年始の休日



米子市福市考古資料館展示室

3 管理組織

(1) 指定管理者 財団法人米子市文化財団

(2) 職員配置

米子市埋蔵文化財センター

館長 1 名 学芸員 1 名 (補助員として他に一般財団法人米子市文化財団埋蔵文化財調査室職員 5 名、事務員 1 名が兼務)

米子市福市考古資料館

館長 1 名 (兼務) 学芸員 1 名 (兼務) 受付管理 2 名

在職者名簿

| 米子市埋蔵文化財センター | | 米子市福市考古資料館 | |
|--------------|----------------|------------|----------------|
| 館長 | 小原貴樹 (非常勤) | 館長 | 小原貴樹 (非常勤) |
| 学芸員 | 佐伯純也 (調査室兼務) | 学芸員 | 高橋浩樹 (調査室兼務) |
| 学芸補助 | 平木裕子 (調査室兼務) | 受付・管理 | 遠藤 稔 (臨時職員) |
| 学芸補助 | 濱野浩美 (調査室兼務) | 受付・管理 | 門脇 威 (臨時職員) |
| 学芸補助 | 影山和雄 (調査室兼務) | | |
| 事務補助 | 田中昌子 (非常勤) | | |

4 平成 24 年度 埋蔵文化財センター・福市考古資料館 事業計画

(1) 基本方針

埋蔵文化財センターとして基本になる機能の充実に努める。

利用しやすい福市考古資料館と埋蔵文化財センターの管理に努める。

環境を活かした福市考古資料館と埋蔵文化財センターの管理に努める。

情報の発信と施設間ネットワーク化の推進に努める。

(2) 重点施策

原始・古代史を学ぶ機会の提供

ア 常設展・企画展を開催し、米子市等の考古資料を展示し、また講座の実施により原始・古代への関心を高める。

イ 市内の遺跡のガイドウォークの実施によって遺跡への関心を高める。

ウ 体験教室・出前講座をとおして、「見て」「触れて」「作って」古代への興味・関心を高める。

埋蔵文化財資料の整理・保管研究

米子市の埋蔵文化財の出土品や記録の適切な収蔵保管を行い、良好な状態で次世代に継承するとともに、広く活用できるように努める。

情報の発信

発掘調査や研究の成果をふまえ、米子市の古代史の最新情報を発信する。

連携事業の促進

より多くの人に興味・関心を持ってもらうために、事業団の各施設をはじめ、歴史関係施設との連携事業を展開する。

平成26年度 埋蔵文化財センター・福市考古資料館 事業計画(案)

1 基本方針

- (1) 埋蔵文化財センターとして基本になる機能の充実
- (2) 原始・古代への関心を高める福市資料館の管理
- (3) 環境を生かした福市資料館と埋蔵文化財センターの管理
- (4) 情報発信とネットワーク化の推進

2 重点施策

(1) 原始・古代史を学ぶ機会の提供

常設展・企画展を企画・開催し、米子市等の考古資料を展示し、また講座の実施によって原始・古代への関心を高める。

市内の遺跡のガイドウォークの実施によって遺跡への関心を高める。

体験教室・出前講座をとおして、「見て」「触れて」「作って」古代への興味・関心を高める。

(2) 埋蔵文化財資料の整理・保管研究

米子市の埋蔵文化財の出土品や記録の適切な整理・保管を行い、良好な状態で次世代に継承するとともに、広く活用できるように努める。

(3) 情報の発信

発掘調査や研究の成果をふまえ、米子市等の原始・古代史の最新情報を発信する。

(4) 連携事業の促進

より多くの人に興味・関心を持ってもらうために、当財団の各施設をはじめ、歴史関係施設との連携事業を展開する。

3 主要事業

| | 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|------------------------------|-------------------------------------|---|------------------|
| 展 示 | 常設展示 「米子の原始・古代」 (福市考古資料館) | 米子の原始・古代の遺跡から出土した代表的な考古資料を展示し、原始・古代の姿の理解を深める。 | 通年 |
| | 常設展示 「米子の遺跡と発掘調査」 (埋蔵文化財センター) | 遺跡や出土品を通して、米子の遺跡や発掘調査への理解を深める。 | 通年 |
| | 企画展示 「発掘調査速報展」 (福市考古資料館) | 最近の発掘調査成果を展示する。 | 年1回 9～10月 |
| | 出前企画展 仮「米子平野の古墳」 (埋蔵文化財センター) | 上淀白鳳の丘展示館等で出前展示を行う。 | 年1回 |
| 教 育 普 及 | 米子城跡ガイドウォーク (埋蔵文化財センター) | 米子城の解説と現地のガイドを行う。 | 年1回 10月 |
| | 市内遺跡探訪ウォーク (埋蔵文化財センター) | 市内の遺跡の現地のガイドを行う。 | 年1回 5月 |
| | 石造物探訪ウォーク (埋蔵文化財センター) | 市内の石造物の現地ガイドを行う。 | 年1回 9月 |
| | 考古学講座「発掘が語る米子」 (埋蔵文化財センター) | 各時代の遺跡の発掘成果を解説する講座を行う。 | 年3回 (6、8、10月) |
| | 講座「出土品学習教室」 (埋蔵文化財センター) | 発掘出土品の分類学習や、種別・時期などの判別の基礎を学習する。 | 年1回 11月 |

| | | | |
|------------------|-------------------------------|---|----------------------------|
| 教 育 普 及 | 発掘調査見学ツアー (埋蔵文化財センター) | 発掘調査中の遺跡を調査員の説明を受け、生の遺跡調査の状況を見学する。 | 年1回 調査時 |
| | 勾玉・石包丁・土笛づくり (福市考古資料館) | 勾玉づくり等を希望する来館者に、体験学習をしてもらう。また、希望の学校等へも出かけて行う。 | 随時 |
| | 出前講座・学習受け入れ (埋蔵文化財センター) | 希望の学校・公民館へ、実物の出土品を持参し、原始古代について解説を行う。またセンターで受け入れて行う。 | 出前講座・学習受け入れ (埋蔵文化財センター) |
| | 出土品の貸出・利用提供 (埋蔵文化財センター) | 博物館等への出土品の貸出、大学・研究者等の出土品研究実見の対応・受け入れを行う | 随時 |
| 調 査 研 究 | 資料の調査・研究、整理、点検 (埋蔵文化財センター) | 収蔵されている資料や、寄贈された考古資料を調査・研究、整理・点検し成果をまとめる。 | 通年 |
| 情 報 発 信 | 「埋蔵文化財センターたより」の発刊 | 発掘調査の情報、貴重な収蔵品の紹介やセンターと資料館行事等の情報提供を行う。 | 年4～6回 |
| | 施設・遺跡情報の提供 | 当財団のネットでの行事・施設・遺跡情報の提供を行う。 | 通年 |
| 連 携 事 業 | 財団施設体験ツアー | 事業団管理施設の解説と特色のある事業体験を行う。 | 年1回 |

平成 25 年度上淀白鳳の丘展示館の組織体制及び事業報告書

(平成 26 年 3 月 1 日現在)

1 組織体制

| | | |
|-------------|-----|---------|
| 館長（非常勤） | 1 人 | |
| 副館長（常勤） | 1 人 | |
| 学芸員兼企画員（常勤） | 1 人 | |
| スタッフ（非常勤） | 2 人 | 合 計 5 人 |

2 事業の実施状況

(1) 入館者数等

| 区 分 | 一 般 | 高・大学生 | 中学生以下 | 合 計 |
|-----|---------|-------|-------|---------|
| 人 数 | 4,531 人 | 80 人 | 350 人 | 4,961 人 |

(2) 主な自主事業

| 事 業 名 | 実 施 状 況 | 実施時期 |
|----------------|--|--------------------------|
| よどえ古代まつり参加事業 | 上淀白鳳の丘展示館 2 周年記念事業として、よどえ古代まつり実行委員会に参画し、当日は入館料を無料にし、復元壁画の原画を一般公開した。 (入館者=478 人) | 6 月 23 日 |
| 上淀白鳳の丘展示館ミニ企画展 | 展示館の自主運営事業として、次のミニ企画展を展示館多目的室にて開催した。 ・「弥生の風を感じる」－米子の地に暮らした弥生人たち－ 平成 25 年 7 月 1 日～同年 8 月 19 日（50 日間） (入館者=762 人) ・「上淀廃寺壁画展」－古代寺院を彩った壁画たち－ 平成 25 年 10 月 10 日～同年 12 月 9 日（60 日間） (入館者=866 人) ※別添チラシを参照 | 7・8 月 10～ 12 月 |
| 妻木晩田遺跡連携事業 | 妻木晩田遺跡連携事業として、上淀廃寺の魅力と謎をテーマに 3 回のトークプレスを弥生の館むきばんだで開催しました。 ・第 1 回 「上淀廃寺の建立の謎に迫る」（11 月 9 日） ・第 2 回 「上淀廃寺の仏像の謎に迫る」（11 月 23 日） ・第 3 回 「上淀廃寺の壁画の謎に迫る」（12 月 3 日） (参加者数=延べ 158 人) ※別添チラシを参照 | 11 月 12 月 |
| 各種イベント連携事業 | 美水の郷秋麗ウオーク、サイクリングカーニバル、夏休みこども体験ウオーク、よどえまるごとみちくさ日和、シンポジウムエクスカーション等のイベントと連携を図りながら、上淀白鳳の丘展示館、国史跡上淀廃寺跡をコースに組み入れ、利用の促進を図った。 (参加者数=延べ 132 人) | 8 月 9 月 10 月 |

| | | |
|---------------------|--|-----------------|
| <p>伯耆古代の丘情報発信事業</p> | <p>今年度は「日本史の研究（山川出版）」の中に展示館の紹介記事 4 ページを掲載し、全国に情報発信しました。また、県と市で共同作成したパンフレット（伯耆の国千年郷）を 5000 部増刷し、広報の充実を図るなど、様々な機会を捉えて情報発信を行った。</p> | <p>随 時</p> |
| <p>淀江エリア魅力アップ事業</p> | <p>米子市観光協会や大阪にある旅行専門学校と連携して、このエリアを対象にした観光商品の造成に取り組みました。今年度は、このエリアの魅力を紹介する専門学校生徒の視察体験旅行を企画・実施し、本年 2 月には生徒が作成した観光商品のプレゼンテーション（大阪市）に出席した。</p> | <p>11 月・2 月</p> |
| <p>周辺史跡ガイドの実施</p> | <p>入館者及びこのエリアへの来訪者の要望に応じ、周辺史跡（向山古墳群、石馬、上淀廃寺跡）のガイドを積極的に行った。 (周辺史跡案内=142 回 1,639 人)</p> | <p>随時</p> |

平成 26 年度上淀白鳳の丘展示館の組織体制及び事業計画

1 組織体制

| | | | |
|-------------|---|---|--------|
| 館長（非常勤） | 1 | 人 | |
| 副館長（常勤） | 1 | 人 | |
| 学芸員兼企画員（常勤） | 1 | 人 | |
| スタッフ（非常勤） | 2 | 人 | 合 計 5人 |

2 事業計画

(1) 基本方針

指定管理業務の4年目になり、これまでの実績等を踏まえ、引き続き施設の円滑な管理運営を図るとともに、ソフト事業の積極的な実施及び広報活動の充実に重点をおいた事業展開を目指すこととします。

(2) 主な自主事業

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期 |
|----------------|--|-----------|
| よどえ古代まつり参加事業 | 上淀白鳳の丘展示館のオープンを契機にはじめられたよどえ古代まつりの実行委員会に参画し、祭り当日の無料入館や復元壁画の原画展示などの事業を実施します。 | 6月予定 |
| 妻木晩田遺跡連携事業 | 妻木晩田遺跡連携事業として、今年度も妻木・晩田遺跡公園や淀江支所、文化課等と合同で実施する「とっとりの文化遺産魅力発掘プロジェクト」に積極的に取り組むこととします。中でも「学ぶ・楽しむ淀江の歴史遺産講座」や「よどえまるごとみちくさ日和 2014」の中で展示館事業を企画実施します。 | 今年9月～翌年2月 |
| 上淀白鳳の丘展示館ミニ企画展 | 上淀白鳳の丘展示館の多目的室で国史跡上淀廃寺跡や上淀周辺の史跡等をテーマにしたミニ企画展を実施します。 | 年2回 |
| 伯耆古代の丘情報発信事業 | 広報活動の充実に図るために、展示館パンフレットや伯耆の国千年郷パンフレットを活用した広報活動に努めるとともに、様々な機会をとらえて旅行関連雑誌等への記事掲載や情報提供に努めます。 | 随時 |
| 館内及び周辺史跡ガイド | 前年度に引き続き、入館者及びこのエリアへの来訪者の要望に応じ、展示館ガイドに合わせて周辺史跡（向山古墳群、石馬、上淀廃寺跡）のガイドを積極的に行います。 | 随時 |
| 展示館歴史講座 | 上淀廃寺をテーマにした歴史講座を実施し、国史跡 上淀廃寺跡への理解を深めるとともに、その魅力の広報に努めます。また、積極的な出前講座を提案し市内の公民館などでの講座の実施に努めます。 ※別添チラシを参照 | 随時 |
| 淀江エリア魅力アップ事業 | 上淀廃寺などの史跡を活用やこのエリアの恵まれた自然や特産品を取り入れた観光商品の開発を米子市観光協会、旅行専門学校、観光業者とともに取り組みます。 | 10月予定 |

山陰歴史館整備計画について

平成26年3月

米子市教育委員会文化課

1 伯耆の国よなご文化創造計画について

平成25年10月 伯耆の国よなご文化創造計画 後期計画策定

山陰歴史館整備事業が次のとおり計画に盛り込まれる。

「米子市の歴史館として、よなごの通史を学ぶことができ、城山のガイダンスや、下町散策の拠点施設として機能するよう整備します。

また、山陰歴史館のある米子市役所旧館は、昭和5年（1930年）に建築されたもので、建設から80年以上経過しており建物の老朽化が進んでいることから、市指定文化財としての保護・保全を行います。」

文化創造計画（後期計画）スケジュール

| 実施年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|-----------|--------|------------------------|--------|
| 山陰歴史館整備事業 | ← | → | |
| | 基本設計 | 実施設計 | |
| | | 米子市役所旧館保存整備 山陰歴史館整備 | |

2 視察報告（群馬県昭和庁舎）

竣工 昭和3年、設計者 佐藤功一、改修 平成13年

規模 地下1階地上3階、構造 鉄筋コンクリート造、延床面積 6,464 m²

用途 群馬県庁舎（改修前）

美術館、NPOサロン、パスポートセンター、喫茶室、会議室（改修後）

主な改修内容 耐震補強工事、タイルの全面張替え、西壁面（塗壁）の復元、

エレベーター設置、トイレ作り替え、全館バリアフリー化など



群馬県昭和庁舎 外観



正面



正面 右側



装飾



窓



外灯



裏側



裏側 付設部分



内部 天井



階段



展示室状況



学習室状況



学習室状況



外目的室



多目的使用



喫茶店